

HADANO MEISUI

ROTARY CLUB WEEKLY

例会場 秦野市平沢 2550-1 秦野商工会議所内 TEL(0463)81-1355

事務所 秦野市平沢 2550-1 秦野商工会議所内 TEL(0463)81-1355

例会日 毎週木曜日 12時30分～13時30分

会長 瀬戸 誠 幹事前 肇 会報委員長 鈴木和夫



人類に奉仕するロータリー

2016年～2017年度国際ロータリー会長
ジョン・ジャーム

第1548例会 2017年5月25日(木)(曇)

司会 柳川清紀副幹事

点鐘 瀬戸誠会長

合唱 「手にてつないで」(酒井健一さん)

唱和 「四つのテスト」(原郁夫さん)

ビジター紹介 厚木商工会議所 会頭 中村 幹夫様

ご結婚記念日 大屋さん(5/27)

お誕生記念日 <会員>関さん(5/29)

会社創業記念日 北村まさん(5/28)、

会長の時間

- 先日の合同例会開催の古河東RCからのお礼状の紹介。
- 現在までの例会の会計報告書をHPにUPしておりますので、是非閲覧し確認して下さい。
- 今日は何の日、「広辞苑記念日」です。1955年に岩波書店から初版が発行されました。この当時の金額が2,000円で販売され、凡そ今の金額に換算すると16,000円位になります。今は第六版まで発行されており、今の第六版は8,700円だそうです。ただこの第六版は広辞苑の中で最も売れていません。それはネット検索が盛んになったからで、これは時代なのかもしれません。

- 先日、アランドロンという俳優が81歳で引退しました。この81歳のアランドロンが物凄くカッコよくて、引退した時の言葉が「キャリアの終わりだ」と言ったそうです。

本日お越しの中村様もそうですが、若い人たちが尊敬している人はどの部分を尊敬するのかと考えると「キャリア」だと思っています。いろいろなキャリアを積まれた先輩方に関しては、若い経営者は尊敬します。そういった中、尊敬され続けるということはなかなか難しいことで、本日の中村様も尊敬され人望も厚い方です。本日はよろしくお願ひ致します。

幹事報告

【受付文書】

- ①国際ロータリー日本事務局より、6月ロータリーレポートのお知らせ **1\$=110円**

【本日の配布物】

- ①IM報告書

会員数	36名
出席義務	35名
出席数	25名
出席率	69.44%
前々回の修正	75%

メイクアップ	【事後】今井さん(5/23 厚木)

本日のプログラム	5月25日 ○企業人卓話 中村幹夫様

次週のプログラム	6月1日 ○企業人卓話 テッドYフルモト様

【例会変更】

《秦野中》

6月16日(金) → 夜間例会 点鐘:19時

場所:秦野商工会議所

6月30日(金) → 移動例会(納会) 点鐘:18時半

場所:北京館

スマイル報告

- 瀬戸誠さん「今日は尊敬する経営者中村幹夫さんが未熟な会長を助けに来てくれました。よろしくお願ひします。」
- 前肇さん「スマイルします。」
- 柳川清紀さん:鈴木和夫さん「中村会頭、お忙しい中当クラブにおいで下さいまして有難うございます。よろしくお願ひします。」
- 今井銀河さん「久ぶりに出席しました。スマイルします。」
- 吉田久美子さん「朝夕の寒暖の差が激しいですね。お体お気を付けて下さい。」
- 大屋富茂さん「46回目の結婚記念日です。現在元気にて仕事にRCに活動できるのは両親、そして家内・社会の恩に感謝いたします。」
- 北村まり子さん「創業記念のお祝ひありがとうございます。」
- 原郁夫さん「古河東RCとの合同例会ご苦勞様でした。」
- 山谷洋子さん「そろそろ梅雨の季節でしょうか。スマイルします。」
- 原恵美子さん「スマイルします。」
- 桐山晃忠さん「季節の香りを感じる自然にスマイル。」
- 酒井健一さん「あと1ヶ月で古谷さんの思いを引き継ぐようですね。」
- 北村俊和さん「スマイルします。」
- 関隆明さん「誕生祝ひありがとうございます。」
- 福原美千加さん「長い間欠席いたしまして本当に申し訳ございません。バタバタしておりますがとっても元気です。健康でいられることに感謝します。」
- 諸星常平さん「古河東RCとの合同例会、大成功で良かったです。楽しみました。」
- 古谷スミ子さん「商工会議所女性会会長に北村まり子さんがなられました。おめでとうございます。ますますのご活躍を期待しております。」

合計 56,000円

委員会報告及びその他の報告

＜古谷委員長＞

- 第28回MOA美術館全国児童作品展がリニューアルオープンされたMOA美術館で行われました。入賞・入選作品300点が展示されました。今回は13か国、421か所で地域展が開催され9270校からの応募数は過去最高となりました。秦野の会場からはMOA美術館に作品を出展することはできませんでしたが、児童画展ができましたのも、皆様の協賛のお陰と篤く感謝したいと思います。
- 緑の羽の募金箱を回しておりますので、皆様のご協力をお願い致します。
- 30周年実行委員会を本日例会終了後に開催しますので関係者の方は必ず出席をお願い致します。

企業人卓話

＜厚木商工会議所 会頭 中村 幹夫様＞



下記の通り要点のみ纏めました。

1. ご自身の略歴紹介
 2. 概要
- 会社は、厚木の中津工業団地の入り口にあります。1999年にタイに工場を設立。当時日本で給料が15～16万の時にまだ2万円位でしたからとても有利でした。しかし日本のお客様もしっかりしておられ海外に出ていくなら3割のコストダウンを実行するように言われ、むちゃくちゃな話して結果は思うようには儲けられなかったです。そして6年後にはタイに第2工場を設立しました。そこで日本国内に向けての製品とタイ国内向けの2分化をしました。結果、為替の大きな変化にもタイ国内向けの第2工場があったので乗り切ることができました。そして8年後にはベトナムに海外3番目の工場を設立しました。
 - 経営の方は4年前に息子二人に事業継承しました。このきっかけは、自分が60歳の時に息子たちにあと5年経ったら経営を譲ろうかと思うと聞いてみたところ、実際に思うところは7～8割は「まだ親父若

いから頑張つて」と言われることを期待していたのですが、「分かった。やります。」と簡単に言われてしまい引込みがつかなくなってしまうわけです。結局5年後にはそっくり継承することになってしまいました。少し安心したのは、奥さんが経理全般を常務という立場で見えていたので、彼女がいれば大丈夫と思っていました。そして会社の経営には一切口を出すことはやめたわけです。

一番困ったことは、商工会議所の会頭職になる時に奥さんは当初反対、息子たちに相談したらいろいろお世話になったから地域貢献の為にいいんじゃないかと言われ、係る費用も自分たちが引き継いだ会社から捻出するくらいは大丈夫と言われました。そして奥さんも何もしていないよりは、何かしていた方が良いということで許可をもらうことができました。

会頭職は捉え方はそれぞれで、名誉職と捉える方もおられます。しかし自分は工業の出身なので物事は“PCDA”で捉えてしまうし、イノベーションを考えてしまい現在は余計に忙しくしています。

- 今の自分のライフスタイルで大きく変わったところは、奥さんが現役ですので7:30に家を出ます。その後自分は9:00過ぎに会社に出れば良いので、その間奥さんのやっていた仕事を全部やろうと思ひ立ち、台所の片付けから掃除・洗濯とすべて自分がやっています。これらを頑張つてやっても1時間から1時間半かかってしまい、それを自分と同じように仕事をしていた彼女は家でもこんなにやっていたのかとつくづく感心し、この先彼女が現役でいるうちは続けていこうと思ひました。また毎日1万歩歩くことを心掛け、会社に行くにも遠回りをしています。
- 会社は自動車の部品、特に市光工業・小糸製作所さん、最近では住友スリーエムさんの電力関係の仕事をしています。資本金は日本は1千万ですがタイは1億何千万と設備投資が大きくて海外の方が多いです。また社員も日本は100人しかいないのですが、4工場一緒にすると650人位います。年商としては、日本が20億位で海外を一緒にすると40億弱位の規模で行っています。正直オペレーションの方は息子たちの方が上手です。今のところは自分の時より順調なので、何とか自分が会頭をやっている間は利益が出ていて欲しいなと思ひています。
- ここで現在に至るまでの経緯を少しお話しさせていただきます。高校を卒業し、内陸工業団地の自動車部品を作る会社の技術部に就職し6年間勤め、その間できた親友と二人で25歳の時に独立しました。その時の上司や仲

間にはずいぶん慰留されましたが若気の至りで止まることなく飛び出し、大和市で創業しました。

経営のイロハも知らない二人が3年間は寝る間もなく・休みもなく働きましたが思ひがあつてやっているわけですから、苦しくはなかつたです。大和では取引先の社長が無償で土地を貸してくれ、とにかく3年間でメドを立て土地は更地にして返すという約束になっていたもので、その後厚木に戻りました。丁度メドも立ち始めた矢先に一緒に創業した親友が事故で30歳で亡くなってしまいました。二人で手分けしてやってきた仕事だったので絶対に自分一人では無理で、会社を閉める覚悟をしました。亡くなった彼の親兄弟から、「ここで会社を閉めたら弟は犬死になってしまう」と言われた時に我に返つて、覚悟を決めて再スタートしました。そしてここから奥さんと一緒に経営を始めたわけです。経営そのものは簡単ではなく、一時期は倒産も考えどん底を味わいました。

そんな時助けてくれたのが、工場を貸してくれた大家さんが土地の権利書を貸してくれ、信用を得てお金を借りることができました。また経営者は不動産も持っていないと金銭を借りることも難しいので持ち家をする土地も大家さんが融通を利かせてくれました。商工会議所では土地の担保は借りられても銀行取引が出来なかつたので相談したところ、担当者の方が銀行と一緒に出向き支店長に頼み込んでくれました。

よつてこの時の恩返しは絶対にしなければならないという思ひ一つで会議所と関わつてきました。

- 今があるのは生涯でこれ以上の親友はないだろうと思ひ亡くなった親友、そして大家さん・商工会議所の担当者・銀行の支店長の方と素晴らしい方に恵まれていたからこそだと思ひます。そして自分をずっと支えてくれた奥さんの存在も大きいと改めて感謝しています。
- 厚木の事業者数は約1万社、その中で商工会議所の会員になっているのは約2千社で、組織率は20%です。神奈川県県央の組織率が38%です。今まではこういうことも特別やらなくて良かったわけですが、段々会員も減っていく中で若い人たちに継承していく為には少なくとも3割位を持った組織を維持していかなければ存在価値すらなくなると話し、「パワーアップ3000」と銘打つて2千を3千にすると奮闘しています。1.5倍にするということは皆が相当頑張り、色々な視点で見に行かないと達成できません。そこで11月会頭に就任の際に所信表明を行い、何とか厚木の商工会議所を変えて行こうと日々頑張つているところです。